

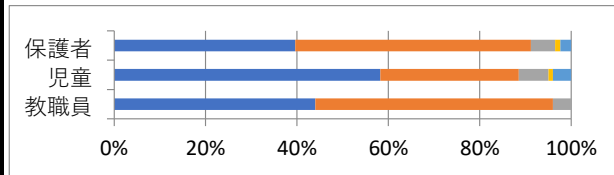
令和4年度 学校評価

4 そう思う ■ 3 どちらかといえば、そう思う ■ 2 どちらかといえば、そう思わない ■ 1 そう思わない ■ 0 わからない

①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重

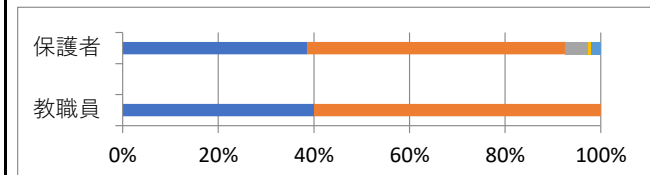
学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。



「3」「4」の割合が、保護者は91%（昨年度93%）、児童は89%（昨年度も同様）、教職員96%（昨年度100%）と高評価であった。一方で、「2」「1」の割合が、保護者は7%（22人）、児童は7%（15人）であることから、今後も児童や保護者の思いに寄り添った指導や対応を心掛ける必要がある。

2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

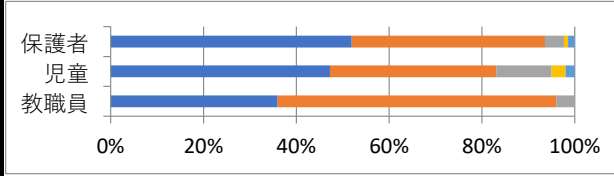


「3」「4」の割合が、保護者は94%（昨年度も同様）、教職員は100%（昨年度96%）と二者ともに高評価であった。今後も考え議論する道徳の授業づくりの他、学校教育活動全体で心の教育に努めるとともに、親子道徳の日や道徳授業参観を実施したり、学校の取組を学校・学級だよりや学級懇談会等で保護者へ発信したりしていきたい。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上

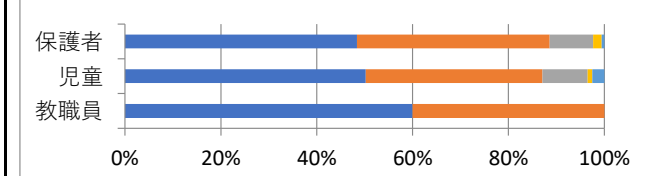
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



「3」「4」の割合が、保護者は93%（昨年度95%）、教職員は96%（昨年度100%）と高評価であった。一方で、児童は「3」「4」の割合が83%（昨年度90%）、「1」「2」の割合が15%（昨年度10%）であった。オンライン授業も含め、教職員の授業力向上のための取組が高く評価されていると言える。さらにより多くの児童にもわかる喜びを味わわせることができるよう、授業力向上に努めたい。

4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

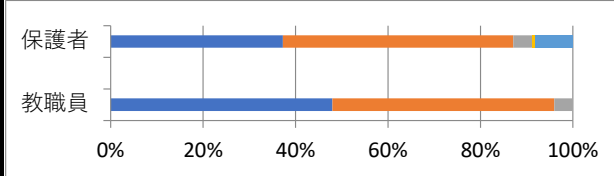


昨年度、教師のICT活用から児童のタブレット活用へと変更になった質問項目である。「3」「4」の割合が、保護者は89%（昨年度91%）、児童は87%（昨年度92%）、教職員は100%（昨年度96%）であった。今後も継続してタブレットの効果的な活用法や教材づくりについての研修を充実するとともに、家庭学習等でもタブレット活用の機会を増やしていきたい。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制

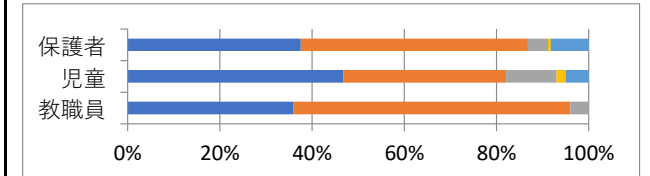
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



「3」「4」の割合が、保護者は87%（昨年度93%）、教職員は96%（昨年度と同様）と高評価であった。これは特別支援コーディネーターを中心とした学級担任と学級支援員等との連携や、心のサポート相談員、SC、SSW、外部の関係機関との連携・組織的な対応の成果であると思われる。一方で「0」わからないと回答した保護者は8%（28人）であることから、特別支援教育についての啓発を行う必要があると思われる。

6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



「3」「4」の割合が、保護者は87%（昨年度92%）、児童は82%（昨年度89%）、教職員は96%（昨年度100%）であった。経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ貴重な機会として、今後も交流及び共同学習の充実を努めたい。また「5学校の支援体制」同様、わからないと回答した保護者は8%（28人）であることから、交流及び共同学習についての啓発を行う必要があると思われる。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
<p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>
<p>「3」「4」の割合が保護者は89%（昨年度94%）、児童は87%（昨年度91%）、教職員は96%（昨年度と同様）と高評価であった。学校の安全教育への取組や青パト隊による放課後パトロール等が高く評価されていると言える。今後も学校安全計画に基づいた安全教育のさらなる充実、必要に応じて学校安全計画や危機管理マニュアルの見直し等を行うことで、事故防止に努めたい。</p>	<p>「3」「4」の割合が保護者は87%（昨年度89%）、教職員は96%（昨年度100%）と高評価であった。今年度もコロナ禍において、感染症対策を講じつつ、工夫しながら各種行事を実施したり、家庭や地域と連携した取組を行ってきた成果であると思われる。また、学校創立60周年記念として行われたPTA主催イベント「熱気球体験」「さいプロ」「城千灯」も大変好評で、多くの親子連れの参加が見られた。今後も、学校・家庭・地域が一体となり、地域に応じた特色ある教育活動をすすめていきたい。</p>

⑤ 本校の教育

9 あいさつ	10 公共心・勤労・奉仕
<p>子どもは、地域や学校であいさつができていますか。</p>	<p>子どもは、学校（家庭）で、はきものそろえや無言掃除やボランティアができていますか。</p>
<p>「3」「4」の割合が、保護者は80%（昨年度84%）、児童は84%（昨年度90%）である一方で、教職員は60%（昨年度56%）と開きがあった。今後も学校を挙げて日常的なあいさつの推進、PTAや地域と連携、また児童会を中心としたあいさつ運動等に取り組む必要がある。</p>	<p>「3」「4」の割合が、保護者は72%（昨年度75%）、児童は67%（昨年度77%）、教職員は60%（昨年度52%）であった。しかし、登校後、落ち葉はきを自主的に行う高学年や、学年・学級でボランティアに取り組む姿も見られた。また、城北クリーンタイムでは、4年生以上の児童は積極的に奉仕作業を行っていた。今後も継続して靴やトイレのスリッパをそろえることの習慣化や無言掃除・ボランティアの推進に努めていきたい。</p>

⑤ 本校の教育

11 規律	
<p>子どもは、きまり（宿題をする、時間を守る、やっつけられないことをしない）を守っていると思いますか。</p>	
<p>「3」「4」の割合が、保護者は81%（昨年度87%）、児童は75%（昨年度83%）、教職員は76%（昨年度68%）であり、三者の開きが少なくなった。時間を守る、ルールを守る等は、自他の安全を守り、人に迷惑をかけるためにも必要不可欠である。登下校の様子や放課後の遊び方について、今年度も地域住民等からの苦情が少なく、その都度対応している。今後も、教職員・児童・保護者間で成果と課題を共有しながら、家庭や地域と連携して児童の規範意識を高めていきたい。</p>	